

令和2年度

令和3年3月9日

学 校 通 信



第10号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhshiratori/>

鈴鹿市立白鳥中学校

令和2年度 第74回 卒業式

3月8日（月）あいにくの雨の中でしたが、令和2年度第74回卒業式が行われました。今年度も主に卒業生・保護者・教職員での式となり、在校生は生徒会と室長の代表者のみの参加となりました。学校長式辞と卒業生代表の答辞の言葉を紹介します。

●学校長式辞より（一部）

144名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新任校長として今年度白鳥中学校に赴任させていただいた私にとって、皆さんは最初の卒業生であり、とても印象深く、皆さんの輝く姿が新鮮で、生涯忘れることのできない卒業生になります。

（ 中 略 ）

そんな皆さんに、卒業にあたり、私から、贈る言葉があります。それは「置かれた場所で咲きなさい」という言葉です。この言葉は、岡山県にあるノートルダム清心女子大学の学長を務めておられた渡辺和子さんの著書のタイトルにもなった言葉です。

「置かれた場所で咲きなさい」の「咲きなさい」は、普通は花に使われますが、この言葉の中では「人が笑顔で生き、周囲の人々も幸せにする」という意味で使われています。「置かれた場所」とは、その人の立場や状況を表しているのだと思います。

渡辺さんは著書の中で「咲くということは、仕方がないと諦めることではありません。それは、自分が笑顔で生き、周囲の人々も幸せにすることによって、あなたがここに置かれたことが間違いでなかったと、証明することなのです。」そして、「どうしても咲けない時は、無理に咲かなくてもいい。その代わりに根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために」とも述べておられます。

令和2年度は、コロナ禍に見舞われた1年であったと言えます。皆さんにとっては、それがまさに「置かれた場所」でした。そんな中で、お家の方に支えていただいたこともあったかと思います。先生方にも、例年にない多くの苦勞と努力をしていただきました。それに応えるように皆さんは、学校生活を充実したものとし、まさしく「咲かせる」ことができたと考えています。

皆さんがこれから歩いていく人生においては、順風満帆の時ばかりではありません。山あり、谷あり、失敗もあれば挫折も味わう。「こんなはずじゃなかった」と思う状況に追い込まれる場合もあるかもしれません。そんな時にも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしい。そんな願いを込めて、この言葉を皆さんに贈ります。

令和3年3月8日 鈴鹿市立白鳥中学校 校長 上田 章善



●答辞より（一部）

本当に、あっという間だった二年間が過ぎ、迎えた最後の一年。夢や目標達成への道にコロナウィルス感染症という敵が邪魔をしてきた特別な一年でした。それでも、体育祭や文化祭などの行事が終わるごとに、楽しい思い出が増えていきました。例年とは異なる修学旅行では、初めてシーカヤックを経験した時の吹き抜ける風の感じや、太陽の光がうつる広大な景色は一生忘れることはありません。友だちと全力で思い出を作ろうとした旅館の部屋や、志摩スペイン村での自由行動は時間が過ぎるのがあっという間でした。

もう一度あの最高の時間に戻りたい。もっと、もっと…この最高の友だちと一緒にいたい。そんな楽しい日々はあっという間に過ぎ、もう卒業の日となりました。出会ってから三年。友だちという大切な宝物を見つけられたからこそ、今日までの三年間、頑張ってきたのだと思います。共に笑ったり、泣いたりするのも今日が最後だと思うと、とても淋しく思います。ですが、みんなはいつまでも宝物です。それぞれの夢に向かって、共に頑張ろう、そして、本当にありがとう。

在校生の皆さんに伝えたい言葉があります。「壁にぶつかったら、仲間と乗り越えてください」という言葉です。自分だけで壁を乗り越えることは難しいと思います。壁を乗り越えるために、仲間という存在があります。壁にぶつかったときは、仲間と力を合わせて乗り越えてください。そして、白鳥中学校の伝統を守り、よりよい学校にしてほしいと思います。



（ 中 略 ）

共に歩んできた友だち、先生方、そして白鳥中学校の学び舎。さよなら、そして、ありがとう。本当にありがとう…。

最高の卒業式をしてくださったすべての方々から心から感謝して、答辞といたします。

令和3年3月8日 卒業生代表 藤原大河

3月3日(水)5限目 ようこそ先輩

2年生の各教室に進路が内定している3年生の代表が出向き、進路選択のためのアドバイスとなる話をしてくれました。3年生の代表の皆さんは2年生に話が伝わるようにしっかり準備をして臨んでくれました。また、間もなく最高学年となる2年生もしっかり耳を傾けて話を聴いていました。2年生の感想をいくつか紹介します。

- ・ほとんどの先輩が毎日その授業の復習をしていると言っていたので自分もしようと思う。
- ・自分の好きなことを仕事にできるように頑張りたい。
- ・将来の夢が決まっていたほうが進路選択しやすいと思った。

